

所在地: 千葉県茂原市早野3732番地



設立: 2010年10月

ISO14001取得: 2011年8月 ISO14001最新更新:

主要製品: 液晶ディスプレイパネル

環境コミュニケーション: 10年度

情報開示: 4件 工場見学: 0名 地域貢献活動: 1件

問合せ: 環境チーム TEL: 050-3783-2733

ごあいさつ

当社は、パナソニック株式会社の液晶パネル製造会社として、2010年10月1日に発足いたしました。私どもの提供する液晶パネルは、IPS(In-Plane-Switching)液晶技術を駆使した、高透過率・広視野角・高画質が特徴の「斜めから見ても美しい」液晶パネルです。パナソニックグループの一員として、このIPS技術をたゆまなく進化させ、お客様へ感動を与える画質、世界トップの生産性・コストを限りなく追及し、グローバルで競争力のある液晶パネルを市場に提供して参ります。日本の白砂青松100選に選ばれている九十九里浜に流れ込む一宮川に隣接した地域でこれら事業活動を展開していきますが、貴重な自然を守るため、全従業員が環境保全に努めてまいります。



環境責任者

西村 和行

2010年度の環境重点テーマの取組み

目標

- ・グリーンプロダクツの開発取組み
- ・物づくりCO2排出量の削減
- ・廃棄物発生量の削減と再資源化推進

成果

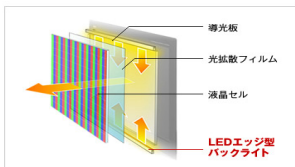
- ・LED(Leco)バックライトの開発で液晶パネル消費電力を削減。
- ・化学物質含有管理システム(GP-Web)導入し、RoHS,REACHへの対応。
- ・照明のこまめ消灯などの地道な活動から、クリーンルームの省エネや生産プロセス変更による省エネなどの取組み。(300t-CO2/年)
- ・排出量抑制策として梱包材等の通い箱化を推進。
- ・再資源化策として、使用済み薬液の再生、再利用を実施。

製品・環境配慮ポイントの紹介



省電力*1を実現

3D対応「LEDブラックパネル」*2 & LEDバックライト

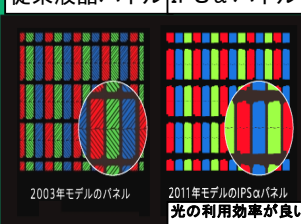


LED IPSパネルにより、光の利用効率を向上し、消費電力を抑えながら、鮮やかな発色を実現しています。

省エネ性能を追求するために、高い開口率で光透過性のいいIPS方式の3D対応「LEDブラックパネル」*2を搭載。さらに、LEDエッジ型バックライトを採用するとともに、映像信号回路の集積化を図りました。環境にも家計にも配慮した省電力*1設計です。

	37v型	32v型
年間消費電力量*3 (kWh/年)	101	86
定格消費電力 (W)	117	97
待機時消費電力*4 (W)	約0.1	約0.1

従来液晶パネル IPSαパネル



LEDなら39%も消費電力を削減

環境に配慮した製品づくり

「RoHS指令」対応&J-Moss準拠

■ 環境負荷物質*の不使用

RoHS指令で指定されている特定有害物質を使用していません。(EUに適用除外項目として認められている物を除く)。また、日本国の資源有効利用促進法に規定されているJ-Mossにも準拠しており、製品廃棄後の環境負荷物質による汚染の可能性を抑え、よりリサイクルしやすい製品づくりを進めています。

*鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリブロモフェニル(PBB)、ポリブロモフェニルエーテル(PBDE)。

■ 無鉛はんだの採用

本体プリント基板の実装に、無鉛はんだを採用しました。

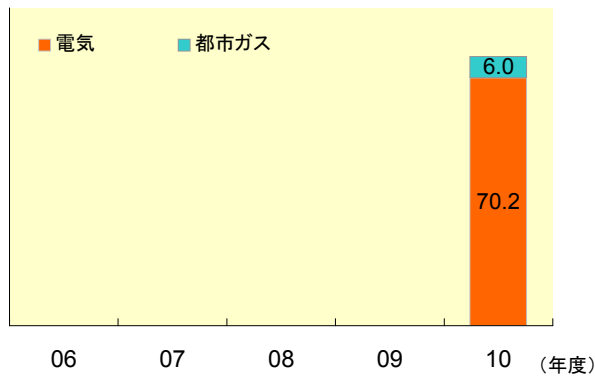
●鉛は、人体や環境への影響が懸念され、世界中で使用を抑制する動きが強まっています。

製品情報①: <http://panasonic.jp/viera/products/dt3/1eco.html#eco01>

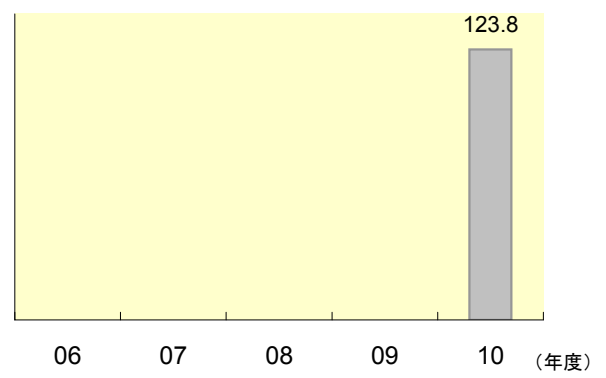
製品情報②: <http://panasonic.jp/viera/ipsled/index.html>

環境パフォーマンスデータ グラフ表示年 2010年4月1日～2011年3月31日

エネルギー使用量 単位:千kl



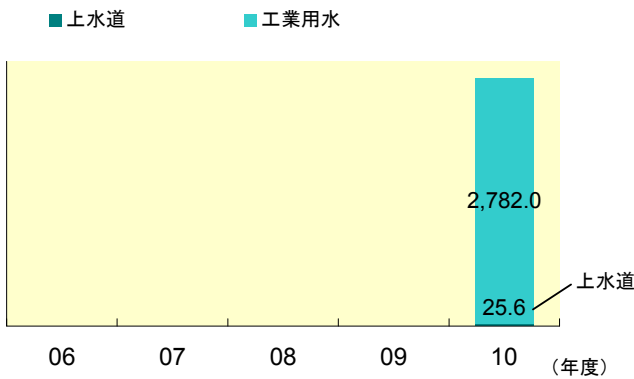
CO2排出量 単位:千t



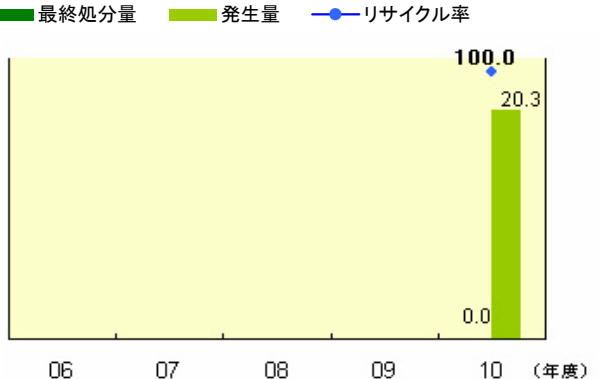
算出基準について

CO2排出係数として0.41kg-CO2/kWhを使用。

水の使用量 単位:千m³

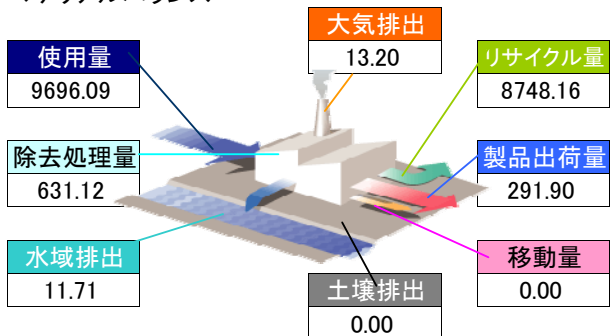


産業廃棄物・有価発生物 単位:千t、%

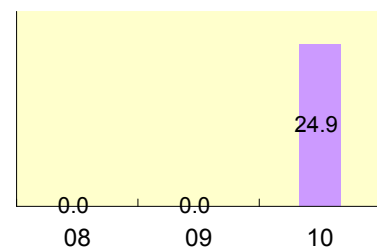


化学物質

マテリアルバランス



重点削減物質 排出・移動量



パナソニックグループの工場化学物質管理について

http://panasonic.co.jp/eco/factory/chemical_substance/

環境パフォーマンスデータの特記事項

PRTR法で指定されている化学物質以外にもパナソニックグループが独自に指定する化学物質を含め、厳しい内部基準を設け運用しています。また、工場排水については高度の排水処理を行い、排出水の水質を確保しています。

環境法令等の順法状況 10年度

<大気汚染物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
SOx	Nm ³ /h	N/A					
NOx	ppm	貫流ボイラー	150.00	120.00	27.50	30.00	2回/年
ばいじん	g/Nm ³	貫流ボイラー	0.10	0.01	0.00	0.00	2回/年

<水質汚濁物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l	総合排水処理	160.00	20.00	4.43	6.70	1回/週
BOD	mg/l	総合排水処理	10.00	8.00	1.33	3.50	1回/週
窒素	mg/l	総合排水処理	120.00	80.00	20.00	23.00	1回/月
リン	mg/l	総合排水処理	16.00	6.40	0.21	0.30	1回/月

<騒音・振動>

	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼 境界線(南)	N/A	65.00	52.00	53.00	1回/年
		夜 境界線(南)	N/A	57.00	52.00	53.00	1回/年
振動	dB	昼 境界線(南)	N/A	60.00	35.00	35.00	1回/年
		夜 境界線(南)	N/A	55.00	35.00	35.00	1回/年

法令規制値: 法または条例および協定の規制する値

N/A: 法令規制対象外の項目

法令規制値超過について

・報告すべき事項はございません。

指導、指摘事項に対する改善状況

指導、指摘事項	改善対策
・報告すべき事項はございません。	

環境方針

「パナソニック液晶ディスプレイ（株） 茂原地区 環境宣言」

私達人間には宇宙万物と共存し、調和ある繁栄を実現する崇高な使命が与えられている。
我が社はこの人間に与えられた使命を自覚し、企業としての社会的責任を遂行するとともに、この地球がバランスのとれた健康体であり続けるために環境の維持向上に万全の配慮と不断的努力を行う。

パナソニック液晶ディスプレイ（株）茂原地区（以下「茂原地区」という）は「パナソニックグループ環境宣言」に則り、あらゆる事業活動を通じて「地球環境との共存」を図り、地球環境の保全に取り組む。

茂原地区の主要事業は、IPS方式の液晶モジュールの開発から設計・製造までを担当しています。日本の白砂青松100選に選ばれている九十九里浜に流れる込む一宮川流域で事業活動を展開しており、この周辺の自然を守るため、全従業員が環境保全に努め社会的責任を果たす。

1. 茂原地区は、全ての事業活動、製品及びサービスに関わる環境への影響を認識し、地球環境保全活動の強化と汚染防止を推進するために、環境マネジメントシステムを構築・維持し、全員活動により継続的改善を図る。
2. 茂原地区は事業に係る全ての法律・規則・条例・協定を含む法的要求事項を遵守するために自ら定めた規程を順守する。
3. 茂原地区は、下記の重点項目を中心に全従業員が一丸となり、目標達成に向け取り組む。
 - グリーン・プロダクツの開発推進
 - ・業界トップレベルの高循環型商品づくり
 - ・環境配慮設計（資源循環）への取り組み
 - 省エネルギーの推進
 - ・トップランナー工場を目指す
 - ・CO2排出量の削減
 - ゼロエミッションの推進
 - ・資源ロス削減の取り組み
 - ・化学物質総合管理と削減の取り組み
 - ・水資源削減の取り組み（水のリサイクル）
 - エコリレーの推進
 - ・行政、地域との連携による活動の実施（年1回以上）
 - リスクマネジメントの推進
 - ・法令遵守
4. この環境方針を達成するために環境目的・目標を設定し、事業環境が変化した場合は見直しを行う。
5. 茂原地区は、全従業員及び構内で常駐して働くすべての人に環境に関わる認識を高めるため、定期的に教育・訓練・要求事項等の伝達を実施する。
6. この環境方針については、文書・パンフレット等にて全従業員及び構内で常駐して働くすべての人に周知を図る。

2011年7月1日

パナソニック液晶ディスプレイ株式会社
茂原工場

工場長

西村 和行



環境負荷削減の取り組み事例

◆商品の省エネと取り組み事例

LEDバックライトを開発し従来の液晶パネル消費電力に比べ省エネを実現しました。



◆省エネ取り組み事例

省エネ診断に基づき、クリーンルームの省エネ、プロセス改善による省エネ、照明器具の間引きによる省エネなどを実施しました。

◆ゼロエミッションの推進事例

製造工程から排出される廃液の一部をリサイクルして、再度利用するシステムを2010年度より稼働させました。

環境コミュニケーション事例



一宮川清掃活動

日時：2011年2月4日（金）
場所：会社周辺 一宮川 河川敷

毎年環境取組みの一環として会社のすぐ脇を流れている一宮川河川敷の清掃を隣接する（株）日立ディスプレイズ社と合同で行っています。

一ノ宮川

・・日本の白砂青松100選に登録されている九十九里浜に流れ込む河川です。



当日は2社合わせて20名程度が参加し、河川敷に捨てられているペットボトルや缶などのゴミを拾い集めました。

緊急事態への準備と対応

考え方と訓練計画

社員の安全確保と地域環境に影響を及ぼす事故・緊急事態を予測し、発生要因毎に緊急事態の予防処置及び対応手順を準備しています。又、年度毎に手順に従い模擬訓練を実施、緊急時に備えています。

ガス漏れ想定訓練の実施

日時：2010年7月29日（木）

・クリーンルーム内でのガス漏れを想定。

ガス漏れ連絡を受け、作業員がライフゼムを装着し検知器持参で入室します。緊急遮弁（模擬）後ガス漏れ点検を行い、対応完了を報告し訓練を終了しました。



地震総合避難訓練の実施

日時：2010年9月14日（火）

毎年9月に防災活動の取組みの一環として「地震総合避難訓練」を実施しています。

当日は災害対策本部の地震発生の放送で全従業員が一斉に屋外の避難場所まで避難しました。

また、同時に火災を想定した職場防火団による消火訓練も行いました。

★3.11東北大地震で、緊急時手順に従って迅速に行動し、全員無事屋外へ避難することができました。

避難後の安否確認